

1 山口県における AFPY の歩み

山口県では、世界的な野外教育機関である Outward Bound School (OBS※1) の教育手法を導入し、平成5年度から県内の小・中・高校生を対象とした青少年自然体験活動推進事業「心の冒険・サマースクール」等の長期自然体験活動を実施してきました。令和5年度からは、「やまぐちアドベンチャーキャンプ」に名称を変更し、小・中学生を対象とした1週間程度のプログラムを実施しています。これまでに、延べ2,800人を超える子どもたちが参加し、「自己肯定感」「他者との信頼関係の構築」「自然や人に対する感謝の念の育成」等に学びを得てきました。

一方、アメリカでは、大自然を舞台とした OBS プログラムにより得られる教育効果を生かし、学校や地域等における冒険教育プログラムを提供する教育機関 Project Adventure (PA) ができました。

山口県においては、「やまぐちアドベンチャーキャンプ」の指導者が野外での冒険活動の経験を生かし、学校や地域でも使える PA の手法を取り入れ、山口県の子どもたちの生きる力を育む一つの手立てとして Adventure Friendship Program in Yamaguchi (AFPY: アフピー) を確立し、活動してきました。この手法は、現在、学校教育や社会教育の様々な場に広がり、子どもたちの人間関係を育むために活用されています。

こうした「OBS 手法」「PA 手法」を取り入れ、学校教育・社会教育の両面における活動を展開していることが山口県の特色でもあります。

※1：世界的な野外教育機関。自然体験活動とカウンセリングを組み合わせた野外教育活動を展開。

